

上智 高校生講座

“Veritas” = 真理 (ラテン語)

校章に記された“LV”は、真理の光「Lux Veritatis」、

たゆまぬ真理の探究を目指す上智大学の本質と理想を表しています。

上智大学創立100周年・上智短期大学創立40周年・上智社会福祉専門学校創立50周年

記念事業として、大学の面白さ、学びの楽しさを紹介する、高校生向け講座です。

Veritas

第2回 2010年10月2日(土)

第3回 2010年11月20日(土)

14:00~16:00

上智大学四谷キャンパス 12号館1F102教室
(最寄り駅JR・地下鉄 四ツ谷駅徒歩3分)

第2回講座 「物を切ってゆくと」

物を細かく切ってゆくと最後まで切れるか、最小単位があってそれ以上切れなくなるか、ということに人間は困惑するようになった。或る物質がとんでもない物をいくつか合わせるときに出来ることから、そのいくつかの物が出来た物の中に収まっていることから、分けてゆくときに最後にはその中に残っている筈で、これ等を分けることが出来、その後には異なった物が残される筈であることに気がついた。その物が今日の原子であり、その種類毎に元素という表示を貰うことになる。

第3回講座 「電波とは」

電気に関する現象は、質量も体積もないから感覚に訴えることがなく、丁度幽霊みたいなもので、人間に“納得”してもらえないものではなかった。しかし、敷物の上を歩いて行って握手した時に飛び上がるなどから、摩擦によって電気が出来るなどということが分かり、雷が電気らしいということになる。雷と共に鉄の扉に貼りついてた蛙の死体が動いたことから、逆に電気を検出できるようになった。このような現象を式で表示したのがマックスウェルだった。

このマックスウェルが作った式を眺めているうちに特殊解があることに気がついた。この表現するものが電磁波であり、等速、進行などの性質を持つことが分かる。本当に存在することを示したのが、ハインリッヒ・ヘルツであった。



講師：西澤 潤一 上智学院 顧問 / 上智大学 特任教授

1926年(大正15)年仙台市生まれ。東北大学工学部電気工学科卒業。工学博士。東北大学教授、同大学総長、岩手県立大学長、首都大学東京学長を歴任、2009年8月学校法人上智学院顧問・上智大学特任教授に就任、現在に至る。

光通信の3要素や静電誘導トランジスタの発明、半導体材料の完全結晶化技術の開発などは広く知られており、「ミスター半導体」、「光通信の父」と呼ばれ、国内外の数々の賞を受賞している。2002年にはこれまでの電子工学分野の功績が讃えられ、米国電気電子学会(IEEE)において、日本人では初めて、その名を冠する「Jun-ichi Nishizawa Medal」が創設された。1989年文化勲章、2002年勲一等瑞宝章受章。

現在では電力用半導体の研究による大電力直流送電及び医療・医学の分野への応用可能性の高いテラヘルツ分野の研究の第一線に立っている。

申込受付期間：第2回 ~2010年10月1日(金) 第3回 ~2010年11月19日(金)

参加対象者	申込み方法
高校生	上智大学 HP からお申し込み下さい。URL http://www.sophia.ac.jp/ または、裏面 FAX 申し込み用紙をご利用下さい。
上智大学・上智短期大学・上智社会福祉専門学校 卒業生の子、教職員の子	ソフィア会 HP からお申し込み下さい。URL http://sophiakai.gr.jp

主催：上智学院 創立100周年記念3校共通部門・上智大学ソフィア会

問い合わせ先：学院改革推進室 電話 03-3238-3127 FAX 03-3238-3162

E-mail: 100th_anniv@cl.sophia.ac.jp